

みえの少子化対策を考える

# フューチャー セシヨーン!!

運営マニュアル

Action to change  
the future

For the future  
of children

## ごあいさつ

NPO、企業、学生、行政などの多様な参加者が、今必要とされる少子化対策を考える交流の機会（フューチャーセンター）を創設するために、「みえの少子化対策を考えるフューチャーセンター事業」を平成26年度に10回、27年度に5回、県内各地で開催しました。

これまでご参加いただいた方からは、「少子化の現状がわかってよかった」、「少子化対策や地域の取り組み方などについて、頭の中の整理ができた」、「立場の異なる方の話を聞けて良かった」、「子どもたちの未来のために自分たちが何をしたらよいか考えることができた」などのお声をいただきました。

県民の皆様の結婚や妊娠・子育ての希望がかなう三重づくりのためには、フューチャーセッションの手法も取り入れながら、地域の方々と一緒になって考え、少子化対策を着実に進めていくことが大切と考えます。

この「フューチャーセッション運営マニュアル」は、これまでのセッションのノウハウを取りまとめたものです。

手に取られた皆様は、このマニュアルを参考に、身近なところでお集まりいただき、安心して子育てができる地域づくりや子どもの豊かな育ちなどに思いを寄せ、少子化対策を考え、取組を進めていただければ幸いです。

三重県健康福祉部 子ども・家庭局 少子化対策課 課長 藤川 和重

# 目 次

## はじめに ..... P3

フューチャーセッション、フューチャーセンターとは  
フューチャーセンターの必要性  
フューチャーセンターの活用

## 平成26年度報告 ..... P4

みえの少子化対策を考えるフューチャーセンター事業

## 平成27年度報告 ..... P5

みえの少子化対策を考えるフューチャーセンター事業

## セッション設計 ..... P7

フレームワーク「聞く>書く・考える>話す>まとめる」

## 技法 ..... P9

フューチャーセッションにすぐ使える代表的な4つの技法

## 準備物 ..... P11

## 生まれたアクション ..... P13

## コラム ..... P14

# はじめに

INTRODUCTION

フューチャーセッション、  
フューチャーセンターとは

## 多様な未来を持ち寄ろう

20年前には、身の回りに携帯電話を持っている学生など一人もいませんでした。しかし現在、9割以上の学生が携帯電話を持っています。ということは今、誰も持っていないものを20年後の2036年には全員が持っているかもしれません。それが何かを予想することは実際不可能です。そう、未来は予測不能なのです。

しかし私たちは未来に備えなければなりません。予測不能だからこそ、備える必要があります。そこで「フューチャーセッション」なのです。それは一言で言うと「多様な人々が未来のことについて対話する時間」ということです。そして、そのセッションが行われる場所のことを「フューチャーセンター」と呼んでいます。フューチャーセッションには多様な人たち、市民、行政職員、NPO、会社員、学生、もちろん、男女もそうですし、年齢も含め、バラエティ豊かな皆さんにぜひ集まっていただきましょう。

ここで行われるのは「対話」です。「議論」とはどう違うのでしょうか。「青と赤、どちらが正しい?」と話し合っただけが議論だとすると、対話は「青と赤、混じり合ったらパープルの新しい色になった」というイメージです。議論をどちらの「見方、価値観」がいいか「決める」ものだとすると、対話は「新しいものの見方」「新しい価値観」を一緒に「創り出す」プロセスと言えます。

多様な人たちが集まって、未来のことについて対話し合う、そしてそれぞれが少しずつ内面から変わって、「新しい価値観」や「新しいものの見方」、そして「未来を変えていくアクション」を創り出していく場、それがフューチャーセンターなのです。

フューチャーセンターの必要性

## 「知的弾力性」とともに

予測不可能な未来に備えるには、「知的弾力性」を持つことが必要です。「知的弾力性」とは「一つの価値観やものの見方にとらわれない」ということです。未来は常に変化しています。一つの価値観・ものの見方に固執してしまうと、未来を見誤ります。例えば、1960年代にオランダのシェル石油が考えた複数の未来予想のひとつに「石油危機シナリオ」があり、いち早くオイルショックに対応することができたと言われています。

人は、対話にどうしてもそれぞれ自分の価値観・ものの見方を持ち込みます。それはそれぞれ人によって違うものです。さまざまな目的を持ったフューチャーセンターで行われるフューチャーセッションに参加して、多様な人との対話を通じて「お互いの違い」を発見し、「新しい価値観」や「新しいものの見方」を創り出しましょう。そして、次はあなたがフューチャーセンターを立ち上げてみましょう。最初は仲の良い人と、職場の同僚と、小さなもので大丈夫です。このマニュアルには、そのためのノウハウを詰め込んであります。

フューチャーセンターの活用

## 未来は変えることができる!

フューチャーセッションは、どういうところで役立つのでしょうか。まず、自治体などの広聴広報のツールとして使うことができます。多様な市民が集まってもらい、総合計画についてワークショップをする、などということはもう当たり前のように行われています。テーマをもう少し小さく、具体的に、例えば「〇〇市の子育て支援についての対話の場」というのもいいかもしれません。参加した人は多様な人たちに自分の考えを伝え、そしてみんなの考えを聞くのです。

もちろん、地域住民が集まって、自分たちの地域の子どもの未来を考えるために最適です。

備えていても、備えていなくても、未来はやってきます。単一の価値観・ものの見方による単一の未来予想では、もはや対応できない複雑な時代です。多様な価値観を持ち寄り、「～かもしれない」「～という可能性もある」という「知的弾力性」を「対話」から紡ぎだし、未来に備えるべき時が来ています。このマニュアルが未来を考える皆さんの役に立つものとなるように願っています。

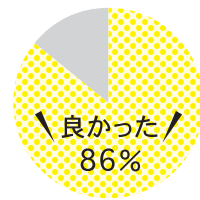
それでは始めていきましょう!

## 「みえの少子化対策を考えるフューチャーセンター事業」

### [目的] 少子化対策の機運の盛り上げとフューチャーセッションの手法を紹介

県内5地域（北勢・中勢・南勢志摩・伊賀・東紀州）において、各2回、計10回少子化対策に関する6つのテーマについて、フューチャーセッション(のべ参加者数244名、664アイデア)を実施しました。

NPO、企業・団体、学生、行政関係者等の多様なセクターが集まり、課題抽出から課題解決に向けたアイデアを考えました。



参加者の86%が「来て良かった」と答えました！

#### 伊賀 地域



#### 12/3 テーマ⑧ 家族・地域の絆について

子どもは家族の宝。家族はもちろん、地域みんなで育てていこう！

**アイデア** 子育て失敗談集

どこの家庭でも失敗はある。親も失敗しながら子育てが楽しめれば気が楽になるよ。

#### 1/15 テーマ① 子育てについて

あなたの「これがあったら嬉しいな」「こんな子育ていいんじゃない？」をみんなでシェア！

**アイデア** スーパーで託児

スーパー等で、利用額に応じた託児サービスを実施すれば、双方にメリットがあるよ。

#### 北勢 地域

#### 11/13 テーマ① 子育てについて

あなたの「これがあったら嬉しいな」「こんな子育ていいんじゃない？」をみんなでシェア！

**アイデア** 小中学生と大学生の寺子屋

子どもと大人が教え・教えられる場をつくり、それぞれの悩みを解決する場としよう。

#### 12/16 テーマ⑨ 男性の育児参画について

あなたの「どんなことしたらいいの？」「こんなことが嬉しいな！」「こんなステキなお父さんを知っているよ」を教えてください！

**アイデア** 想いを言葉にする

ありがとう、ごめんねを妻や子どもに言えるお父さんっていいな。



#### 中勢 地域



#### 11/19 テーマ⑩ 妊娠・出産について

「安心して子どもを産み、育てられる妊娠・出産環境」には何がいる？

**アイデア** 妊娠・出産シミュレーション

今、もし妊娠したら？を考えると、何が必要かわかるんじゃないだろうか。

#### 1/9 テーマ⑥ 困難を有する子どもたちについて

ひとりで悩まないで！みんなで支えて、みんなが笑える地域づくりってステキじゃない？

**アイデア** みんなで助産院見学ツアー

小中学生、高校・大学生、社会人も皆で子どもの命の尊さにふれあってはどうだろう。

#### 南勢 志摩 地域



#### 11/25 テーマ⑨ 男性の育児参画について

あなたの「どんなことしたらいいの？」「こんなことが嬉しいな！」「こんなステキなお父さんを知っているよ」を教えてください！

**アイデア** 『今日育児があるので早く帰ります』と言って退社する

家庭を第一に考える職場風土の醸成が必要じゃないかな？

#### 1/13 テーマ④ 結婚について

あなたが思う「理想の出逢いの場」「結婚にはこれが必要!」って？

**アイデア** 自活のススメ

ある程度の年齢になったら、一人暮らしを始めれば、結婚がしなくなるかもしれない。

#### 東紀州 地域

#### 12/15 テーマ④ 結婚について

あなたが思う「理想の出逢いの場」「結婚にはこれが必要!」って？

**アイデア** 新婚×独身者交流会

独身の方に、新婚さんの幸せを感じてもらって、結婚に前向きになってほしいね。

#### 1/20 テーマ⑧ 家族・地域の絆について

子どもは家族の宝。家族はもちろん、地域みんなで育てていこう！

**アイデア** 回覧板は子どもが持って行くプロジェクト

まずは、他愛のないあいさつから地域の子どもと大人のつながりをつくったらどうだろう。



## 「みえの少子化対策を考えるフューチャーセンター事業」

## [目的] 少子化対策への関心や意識をより深め、アイデアの具現化に向けた手法の地域への浸透や広がり

フューチャーセンターが地域へ浸透し、大きな広がりをみせているのが静岡県です。その事例からヒントを得るために、静岡大学の宇賀田准教授に、地域課題への取り組み事例を交えながら、フューチャーセンターの意義や役割、静岡県内でのフューチャーセンターの広がりをセミナーでお話しいただきました。また、セミナー終了後は、大学生がファシリテーターを務めるフューチャーセッションを開催し、基礎的な知識を学ぶことで、大学生でもフューチャーセッションができるのだという気づきを得ることができました。

## ヨリソウ未来研究所

ヨリソウ未来研究所とは、結婚をテーマとして、ライフステージの前半について、結婚してもしなくても、誰と寄り添いどう生きるのか、皆さんの考えを聞かせていただく「対話」の場です。

## 「誰と寄り添い、どう生きるのか」

## 前編 10月27日 ▶ アイデア出しのフューチャーセッション

47個のアイデアが出ました。

## ● 味噌汁コン ▶ 後編へ

各家庭の味噌汁を持ち込む合コン。胃袋つかんで結婚へ！



## 後編 11月9日 ▶ プロジェクト化に向けたフューチャーセッション

前編のアイデアや前年のアイデア、持ち込みのアイデアも含め、自分が実際にやってみたい、関わりたいという、6つのアイデアがプロジェクト化をめざしました。

## ● 味噌汁コン ▶ プロジェクト化へ進行中

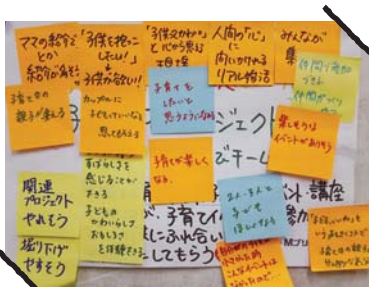
空き家を活用し、味噌汁を通じて「食」「農」「健康」を考えながら食べることを楽しむイベント。開催に向け第1回ミーティング実施。(詳細はP13)

## ● 「家族になろうよ」イベント

結婚したい、家庭を持ちたいと思えるような、家族の魅力を伝えるイベント。

## ● YouTubeを使った、事前自己紹介&amp;婚活

婚活イベントの前に自分のアピール動画で自己紹介。



## ● 松阪肉コン

グルメ&婚活のコラボイベント。誰でも参加自由の肉グルメイベントの一部を婚活コーナーにし、おいしく出逢いをサポート。

## ● でっかいコンパ

友達の友達を連れてきてもらい、その輪を出逢いの場に広げていく婚活イベント。

## ● 安心・安全な婚活・婚活イベント

相談や悩みにもものってもらえて、安心して参加できる婚活イベント。

プロジェクト化をめざす！



参加者の98.5%が  
「とても良かった」「良かった」と答えました！



そこから、少子化対策を切り口とした、未来を考えるフューチャーセッションとして、ライフステージ前半のテーマを「ヨリソウ未来研究所」、後半のテーマを「ツナガレ未来研究所」として実施しました。アイデアの具現化をめざすイメージを分かりやすく伝えるため「未来研究所」と名付けました。

各未来研究所では、前編をアイデア出し、後編をアイデアのプロジェクト化を目的に、前後編1セットでフューチャーセッションを行いました。

## ツナガレ未来研究所

ツナガレ未来研究所とは、子育てをテーマとして、ライフステージの後半について、それぞれの未来は子どもたちとどうつながっているのか、皆さんの考えを聞かせていただく「対話」の場です。

「あなたの未来は、子どもたちとどうつながっていますか？」

前編 12月10日 ▶ アイデア出しのフューチャーセッション

60個のアイデアが出ました。

一例 田舎に泊まる「ワクワクドキドキの一人旅」 ➡ 後編へ  
親と離れて田舎暮らしを体験。自分で遊びを考える。



後編 1月26日 ▶ プロジェクト化に向けたフューチャーセッション

前編のアイデアや前年のアイデア、持ち込みのアイデアも含め、自分が実際やってみたい、関わりたいという、5つのアイデアがプロジェクト化をめざしました。

- 1日おばあちゃんの託児付き 恋の炎よ！もう一度 パパ♥ママ ラブツアー ➡ プロジェクト化へ進行中  
夫婦が2人だけの時間をゆっくり楽しむことができるように、地域総動員で子どもを預かる託児付きイベント。プロジェクト実現に向けて相談、フォローアップ中。(詳細はP13)
- 同居って「ぶっちゃけどうよ!？」企画  
同居のメリット(子育てのサポート・子育ての体験談を気軽に聞けるなど)を知ってもらえるようなイベントを行い、同居を選択肢の一つにしよう。



- 地域の老若男女が集う場づくり  
同じ地域に住んでいるにもかかわらず、顔も知らない・あいさつもしないというような状況から脱却するための場づくり。あいさつ運動からスタート。
- 田舎に泊まる ワクワク・ドキドキの一人旅  
子どもが親と離れて田舎暮らしを体験するというイベント。子どもの自立や親の自由時間が確保できる。
- ヅラカフェ future café  
「生き“ヅラ”さ」を解消するために、大人・子ども・男女・障がいの有無にかかわらず多様な人たちが集まり、さまざまなことを話せるカフェの設置。

プロジェクト化をめざす!

# セッション 設計 PLANNING

一口に、「フューチャーセッション」といっても、少人数で1時間程度で行うものから、100人規模で数日間に分けて行うものまで、多岐にわたります。そこで、今回は、時間が約2時間、10人～30人程度のセッションをイメージし、おすすめのセッション設計のフレームワーク「聞く>書く・考える>話す>まとめる」というものに沿って例をお話したいと思います。

【セッション】  
突然の発熱、保育  
子育て家庭をどうやっ

セッション当日は冒頭に、その問題について詳しい人、その問題を解決したいと強く思っている人をお招きしてお話を聞いてみましょう。参加いただいている多様な方の中には、その問題に詳しい人も、そうでない人もいらっしゃるはずですから、まず皆で話を聞くことで、情報の格差を減らす効果もあります。できれば、具体的な数字を上げてお話いただくと良いでしょう。

1 聞く  
20～30分

複雑な問題や、問いかけに対して、いきなり話せ、と言われても難しいのではないのでしょうか。まずは、個人作業で自分の過去の経験を振り返ったり、アイデアを考えたり、イメージを膨らませたりしておいてから、対話に向かうと「さっきふと思ったんだけど」などと、進めるきっかけにもなります。問題について話を聞いたあとで、個人のワークを入れると良いでしょう。

2 書く  
考える  
20～30分

## ここで使える他の技法

マンダラート (P9)、さくらんぼ分割法 (P10) など

3 話す  
30～40分

グループワークでは、自分たちのグループの話し合いについてはよくわかりますが、他のグループがどんな話をしてたのかがわかりません。最後に他のグループの発表、または壁などに貼りだして全員で眺めるポスターセッションなどでシェアする時間を作りたいですね。

それから、単なる言いつ放しにしないためにも、A3サイズ用の紙などにまとめると、話したことを振り返ることにもつながります。

4 まとめる  
15～20分

「プロジェクト化へ」次回ミーティ



## What? 何を解決したい ですか?

フューチャーセッションにはまず、**問題意識が必要**です。  
「どうすれば子育てがしやすくなるか」「地域の人たちの絆をどうやって取り戻すか」など、問題意識の出発点には必ず「問いかけ」が必要です。その「**問いかけの質がセッションの成功を左右する**」と言ってもよいでしょう。セッションを設計する人は、しっかりと問題について考え、その人なりの「問い」を持つことが大切です。しっかりとした「問いかけ」ができたなら、それをセッションのテーマとして掲げます。そしてセッションの冒頭で話題を提供していただける方を探しましょう。**セッション設計者自らが自分の思いを語ることもよい**と思います。

### 【テーマ例】

## 育児所からの電話、 あったら助けられるか!?

子どもの急な発熱などで困っている子育て中の方にお越しいただき、実際にお話を聞くと。

①で聞いた不安や課題を解決するようなアイデアを、**ブレインライティング法 (P9)** を使ってみんなで考える。書き終えたら、皆で投票し、掘り下げるアイデアを決める。

【テーマからの一例】「レンタルおばあちゃん?」

②で選ばれたアイデアについて、**6ハット法 (P10)** を使い、水平思考を使ってブラッシュアップしていく。

【テーマからの一例】

「擬似祖父母マッチング・プロジェクト」

グループで話し合った内容をA3サイズ用の紙にまとめ、グループあたり2分程度で発表する。時間がない場合には壁などに貼りだして全員で眺める、ポスターセッションでもOKです。

話題提供のお話を聞いたあと、書く、考える作業に入る前に、少しグループでの話し合いに備えてウォーミングアップをすると良いでしょう。このページの「すぐに使えるウォーミングアップ集」も参考に、皆さんが楽しく、気兼ねなく対話できるための準備体操となるように実施してみてください。

### [ すぐに使えるウォーミングアップ集 ]

#### ■Good & New

簡単な自己紹介に一言そえて、最近あった楽しかったこと、良かったことを各自30秒ずつで言い合う。

#### ■ぐるぐる好きなもの

簡単な自己紹介に一言そえて1周回る。それを3セット繰り返す。  
1セット目「好きな色」、2セット目「好きな食べもの」、3セット目「好きな映画、ドラマ」など。

#### ■ギフトボックス (詳細はP14)

100円ショップなどで用意したギフトボックスに雑貨を入れ、何が入っているかを当てるゲーム。中身にテーマ性を持たせると良い。  
例:「キッチンツール」「文房具」など。

話す(対話)作業は、フューチャーセッションで最も大切な部分ですので、しっかりと時間を取りたいところです。そして、ファシリテーターはしっかりと場を見守り、困っている人、話しくさそうにしている人がいたら、声がけをしましょう。グループとして話が行き詰まっているのを見かけたら、「どうしましたか?」「いまどんな状態ですか?」などと声がけをし、ゆるやかに、そしてしっかりと「場」を把握しましょう。

また、対話の過程はなるべく記録してもらおうようにしましょう。ホワイトボード、模造紙、付箋紙などを利用すると良いでしょう。

セッションの日程を決めることをおすすめします。

# 技法

TECHNIQUE

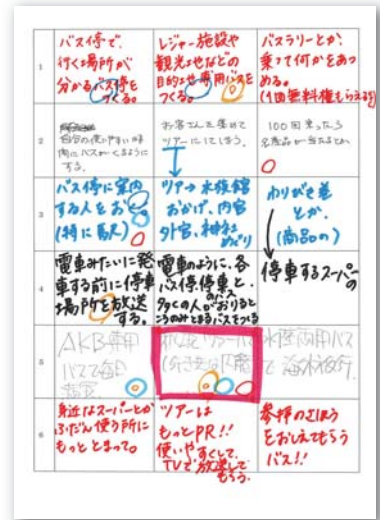
フューチャーセッションにすぐ使える、  
代表的な技法を4つご紹介。

## 1 > ブレインライティング法 [ 設計(P7-8)の②で使えます ]

- 目的** ▶ たくさんのアイデアを出す  
**人数** ▶ 3~6人  
**所要時間** ▶ 30分  
**KEYWORD** ▶ コミュニケーション、アイデア創出

**準備** ▶ 3マス×6段のシート (画像参照) を作り、メンバーが各自1枚持つ。

- ① シートの一番上にこれからアイデアを出すテーマを書いておく。  
(例:「もっと安心して子どもを預けるためのアイデア」)
- ② 自分のシートの一番上の段の3マスにまずアイデアを3つ書く。(3~5分)
- ③ そのシートを自分の右または左隣の人に回す。
- ④ 回ってきたシートの2段目に、アイデアを3つ書く。(3~5分)
- ⑤ それをシートが埋まるまで続ける。
- ⑥ 皆で共有する。



「静かなブレインストーミング」と言われており、メンバーが口数や、コミュニケーション能力にかかわらず平等にアイデアを出せるメリットもあります。各自が書くアイデアは他の人のアイデアに関連していても、そうでなくても構いません。シートが埋まったら、メンバーでアイデアを閲覧して、気に入ったものに投票してみましょう。

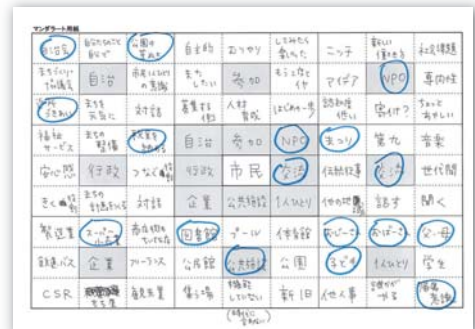
### ワンポイント

別名「635法」と言われます。6人で、3つずつのアイデアを5分を出し合うことから名付けられました。ドイツ生まれの手法です。

## 2 > マンダラート [ 設計(P7-8)の②で使えます ]

- 目的** ▶ 発想を広げる  
**人数** ▶ 1人  
**所要時間** ▶ 20~30分  
**KEYWORD** ▶ 放射状、拡散、自分の中の知識

**準備** ▶ 9マス×9段の81マスのシート (3×3が9ブロック:画像参照) を作り、メンバーが各自1枚持つ。



- ① 中央の3×3の中心のマスのに、これから発想を広げたいキーワードを記入する。  
(例:2015年のセッションでは「子ども」としました→P5~6)
- ② 中央マスの周りの8マスに中央キーワードから連想、イメージする言葉を書き込んでいく。(2~3分)  
(例:「手」「絆」「電話」など)
- ③ その8つのキーワード周辺の8つの3×3の中心マス (着色されているところ) に転記する。
- ④ 周辺の3×3のマスのにつき、それぞれ同様に連想、イメージする言葉を書き込んでいく。(2~3分×8セット)
- ⑤ 皆で共有する。

全部埋まらなくても気にしないで次に進んでいって構いません。マスを埋めることそのものが目的ではなく、よりたくさんのこれまでの経験や知識を頭の中から出してあげることができれば良いと考えています。

### ワンポイント

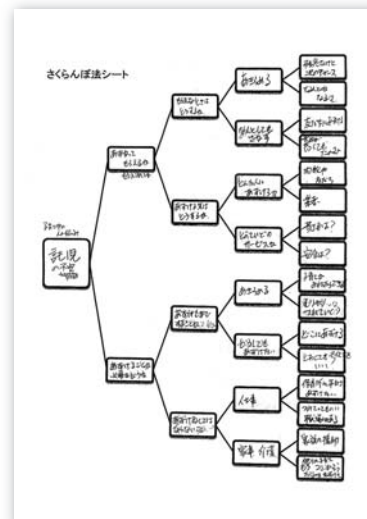
マンダラートは「曼荼羅」と「アート」を組み合わせて作られた概念です。スマートフォンアプリなどを利用することもできます。夢中でマス目を埋めて、振り返ると自分の中にこんなに埋もれていた知識があったことに驚くかもしれません。

### 3 > さくらんぼ分割法 [設計(P7-8)の②で使えます]

- 目的** ▶ 考えを深める、課題の根っこを探る  
**人数** ▶ 1人  
**所要時間** ▶ 15分～30分  
**KEYWORD** ▶ 掘り下げ、分析、発見

**準備** ▶ さくらんぼ分割法シート(画像参照)を作り、メンバーが各自1枚持つ。

- ① 一番左側のマスに掘り下げようと思うテーマとなる言葉を書く。  
(例:「結婚」「出産」など)
- ② そのテーマを大きく2つに分けるとどうなるかを考え書き込む。
- ③ どんな要素もあえて2つに分けると、と考える。  
それを繰り返してすべての要素を2つずつ、16分割まで分けていく。
- ④ 皆で共有する。



所要時間内で書ける範囲で結構です。

ちょうど、サクランボがふさに二つずつなるように、すべてを2つに分割していき、課題の根っこを探っていくことになります。課題の根っこは実は意外なところにあるかもしれません。

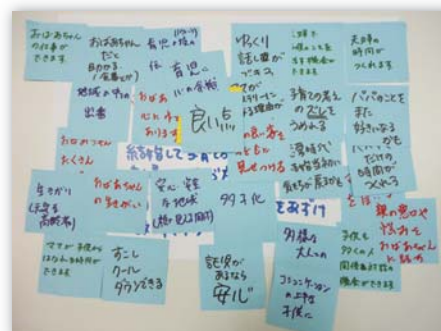
#### ワンポイント

必ず2つに分けることがポイントです。グループワークでは、それぞれが書いた物を見せ合うと新しい発見があるでしょう。同じものを分割していても、他の人と全く同じになることはないでしょう。ここに、人の思考の多様性が見られます。

### 4 > シックス 6ハット法 [設計(P7-8)の③で使えます]

- 目的** ▶ 水平思考を使って、アイデアを吟味する  
**人数** ▶ 2人～7人程度  
**所要時間** ▶ 30分～60分  
**KEYWORD** ▶ ブラッシュアップ、水平思考

**準備** ▶ 付箋紙、検討するアイデアを大きく書いたA3サイズの用紙を2枚。



- ① このアイデアの良い点や強みをそれぞれが個人作業で付箋紙に書き出す。(5分程度)
- ② 書き出した付箋紙を、アイデアを書いたA3用紙に貼り付けて見合いながら、話し合う。  
なぜそう思ったのか、他に良い点はないか考え合う。(15分程度)
- ③ 今度はこのアイデアについての悪い点、弱みを個人作業で付箋紙に書き出す。(5分程度)
- ④ ②と同じように、付箋紙を見せ合い、考え合う。(15分程度)
- ⑤ 良い点、悪い点を参考にしながら、このアイデアをどうすればもっと良くなるか、社会に送り出していけるか、という観点から話し合う。(15分程度)

この技法は、6つの視点を使うのですが、ここでは3つの視点(良い点、悪い点、どうすればより良くなるか)からアイデアをブラッシュアップする方法を説明しています。「3つの視点にわけ、そのつど全員が同じ思考でアイデアを吟味する」というルールを事前に徹底しておきましょう。

#### ワンポイント

どのフェーズでも全員が同じ思考になることが大切です。悪い点、弱みがないと一見思えても、否定的思考を省略せずに、「あえて言うなら」というように、全員が同じ思考になって進めていきましょう。

# 準備物

PREPARATIONS

これがないとフューチャーセッションが開催できないということではありません。  
参考程度にご活用ください。

## 事前準備

- 不足している消耗品などのチェック
- お茶、お菓子などの購入
- アンケート用紙の作成、印刷（参加者+関係者+予備）
- ワークシートの作成、印刷（参加者+関係者+予備）
- 配布資料の印刷（参加者+関係者+予備）
- おつりの両替（参加費が必要な場合）
- 託児にまつわる準備（託児の受託者・部屋の用意など）

## 当日受付

- 受付名簿（参加者名簿）  
個人情報が入っていない、お名前、ふりがな、備考欄程度のもの。
- 託児の受付
- 名札ケース  
受付に付箋と水性マーカーも一緒に準備します。  
受付時に、その日呼ばれたいお名前、ニックネームなどを付箋に記入後、名札ケースに貼ってもらいます。  
**※終了後は忘れずに回収しましょう。**
- 領収書（参加費が必要な場合）
- おつり（参加費が必要な場合）

## 当日会場

- プロジェクター
- スクリーン
- マイク、スピーカー  
ボリュームの確認をしてください。持ち運び式のスピーカーであれば、マイクの方に向けない（ハウリング防止）など事前にチェックをしてください。
- ワークシート
- 配布資料（アンケート用紙、その他）
- 付箋  
各テーブルに2色（複数色）設置します。各内容やテーマで使い分けができたりします。
- 水性マーカー  
複数色をおすすめします。白紙に黄色のマーカーは読みにくいので注意。
- 模造紙（グループ数+予備）
- A3、A4用紙  
使う予定がなくても、各テーブルに数枚設置。対話のメモとするなど、自由に使ってもらえるように準備します。
- ホワイトボード  
成果物の掲示に使用したり、全体で共有する内容など（ルールやタイムスケジュール）を書いたりします。
- マスキングテープ  
アイデアなどを記入した用紙を、ホワイトボードなどに掲示する場合に使用します。  
手で切ることができるので、掲示する時間が短縮できます。用紙を破らずに、テープをはがすことができます。
- お茶など  
常温で飲めるものを選びましょう。テーブルでコップを倒すことがあるので、ペットボトル1人1本がおすすめです。
- お菓子  
手を汚さずに食べられるものをおすすめします。
- 紙コップ（必要であれば）
- ゴミ袋  
全体と各テーブルに小さなものも設置してください。
- その他（ )

- タイトル、概要、開催日時、場所、参加対象者、参加費、定員等を確定
- 告知用Webページ作成 ※すべてを作成しなくても、Web検索した時に情報が見つかることが重要です。
  - ホームページ ● ブログ ● Facebookイベントページ ● Webのイベント告知サービス
- Webでの情報発信（随時）
  - メールマガジン ● SNS (Facebook, Twitter, LINE等)
- チラシ作成
- チラシ配布
  - 公共施設等へ設置依頼
    - ※例えば、市役所・役場、公民館・図書館、大学、商工会議所・商工会、市民活動センター等
  - ポスティング ● ダイレクトメール ● 新聞折り込み
- プレスリリース

## 参加者への案内

- 受付完了の連絡
- 託児のご案内
- 開催直前の案内（リマインドメール等）
- 終了後、参加いただいたお礼のメールなど

時代は

# 未来は フューチャーセッション!!

参加者募集

『みえの少子化対策を考えるフューチャーセンター』  
ヨリソウ未来研究所  
結婚してもなくても、誰と寄り添いどう生きるのか、みなさんのお考えをお聞かせください。

2015.10.27 (前編) 11.9 (後編)

時間 / 13:30～16:30 (受付13:10) 場所 / 松阪市市民活動センター

参加無料 ※託児サービスも無料でご利用いただけます。

FAX (裏面の申込用紙にご記入ください) または、ホームページよりお申し込みください。各回単独でもご参加いただけます。

「フューチャーセッション」  
「フューチャーセンター」とは？

地域の困り事や悩み事を解決するために、テーマに関連がある人もない人も、年齢や性別にかかわらずそれぞれの立場や視点で、対話をし新たなアクションを生み出す場です。地域の企業や市民活動団体、主婦や学生、行政の方など、みんなが当事者・関係者となって、立場の違いを超えたコミュニケーションにより「ちょっと笑顔になれそうな」アイデアを話し合います。一般的な会議やセミナーとは違い、アイデア創出の手法を取り入れた、笑い声も飛び交う楽しい場です。話し合われる内容が「フューチャーセッション」、場所が「フューチャーセンター」です。

三人寄れば文殊の知恵。ひとりでは悩んでも、ひとりでは解決できないことを、みんなの「経験」「知識」「知恵」で解決のヒントやアイデアが見つかるかも？ あなたの理解者や仲間も見つかりネットワークが広がります。

Mプロジェクト 少子化対策 2015 MARCH

この事業は、三重県の「みえの少子化対策を考えるフューチャーセンター事業」として、NPO法人Mブリッジが受託し実施しています。

開催日程

### ヨリソウ未来研究所 (前編)

日時 2015.10.27  
13:30～16:30 (受付13:10)

場所 松阪市市民活動センター (松阪市日野町788)

定員 先着20名

申込締切 10/24(土) ※託児をご希望の方は開催日の1週間前までにお申し込みください。

### ヨリソウ未来研究所 (後編)

日時 2015.11.9  
13:30～16:30 (受付13:10)

場所 松阪市市民活動センター (松阪市日野町788)

定員 先着20名

申込締切 11/6(金) ※託児をご希望の方は開催日の1週間前までにお申し込みください。

会場MAP

参加者様の声

- いろいろな世代の方とお話ができとても楽しかった。気づきもたくさんありました。
- こういふ場は初めてで緊張しましたが、本当に楽しめました。
- 私の街でもやって欲しい!
- 託児もあり、様々な立場の方と交流できて楽しかったです。
- 参加された方の思いや考えに共感でき良かった。

参加者の86%が「来て良かった」と答えました!  
※2014年度、延べ195名の参加者アンケートによる

こんな方にオススメ

- 企業、自治体、地域が抱える課題の解決に関心がある方
- 地域資源を活かした商品開発に関心がある方
- 人と話したり、聴いたりすることが好きな方
- フューチャーセッションを自分の街でもやってみたい方
- 子育て、ワークライフバランスに関心がある方
- 少子化対策に興味がある方 など

ホームページ <http://goo.gl/qPfuFv> facebook 「みえの少子化対策を考えるフューチャーセンター」 <https://www.facebook.com/miesyoushikafuturecenter>

次回予定 > ● 2015年12月10日(木) 13:30～16:30 場所:松阪市市民活動センター  
● 2016年 1月26日(火) 13:30～16:30 場所:松阪市市民活動センター

この事業は、三重県の「みえの少子化対策を考えるフューチャーセンター事業」として、NPO法人Mブリッジが受託し実施しています。

FAX申込用紙 [ FAX 0598-23-8488 ] 下記にご記入のうえお送りください。

参加区分  前編(10/27)のみ参加  後編(11/9)のみ参加  前編・後編 両方に参加 ※必ずチェックを入れてください

ふりがな

お名前

性別 男性 ・ 女性

年齢 歳

所 属 ※会社名・学校名・団体名など

電話番号 E-mail

託児希望 希望する (お子様の人数: 人 年齢: 歳、 歳、 歳) ※託児をご希望の方は開催日の1週間前までにお申し込みください。定員に達した場合はお断りする場合があります。

お申込・問い合わせ先: NPO法人Mブリッジ TEL: 0598-23-8400 (担当:石丸隆彦)

# 生まれた アクション

ACTION

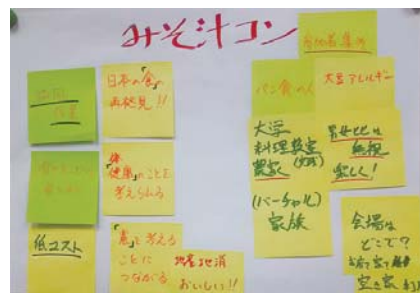
今回、事業を通して生まれた新しいアクションが進行中です。

## 味噌汁コン

「ヨリソウ未来研究所」前編のセッションでは「マンガラート」を使い、結婚についてアイデア出しが行われました。その中から生まれたのが、参加者各家庭の味噌汁を持ち込む合コン（婚活イベント）を実施するというアイデアです。

味噌汁を通じて、それぞれの育った環境の違いを感じ、それぞれの家庭の味を知って「胃袋をつかんで結婚だ!」というアイデアです。

後編のセッションでは「6（シックス）ハット法」を使って、そのアイデアの良い点を対話した後に、悪い点や弱みを対話しました。そこからブラッシュアップされたアイデアは、空き家を活用した、味噌汁コンを通じて「食」「農」「健康」「家族」等を考えながら、食べることを楽しむイベントのアイデアになりました。また、その場でアイデアや意見を出して終わりではなく、参加メンバー自らが自発的にミーティングを実施し、開催に向けて動き出しました。



## 『あぐりの杜 古民家で 婚育♡婚活』婚育男子会・婚育女子会



「ヨリソウ未来研究所」前編に参加された、名張市のNPO法人のメンバーが、その時に出た「婚育」というアイデアや意見を参考に、自らの拠点でもある、古民家を使って、後日、婚育男子会&婚育女子会を開催し、婚活の一步手前をサポートしました。そして婚育→婚活のステップアップ事業で「古民家de♡婚活」を開催しました。

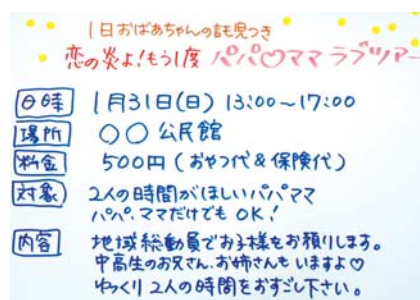
また、婚活での課題は、地域外から参加者を呼び込むことだそうです。セッションでは、松阪市で婚活に関わる参加者と知り合う機会にもなり、名刺交換や情報交換を行ったことから、両地域での相互連携につながりそうな、今後に期待したい取り組みです。

婚育で婚活ってなに？

「みんなどう考えてるのかな？」一緒に『結婚についての本音トーク』を真剣かつ楽しみながら、『自分にぴったり合ったパートナー』を見つけることです。

## 1日おばあちゃんの託児付き 恋の炎よ!もう一度 パパ♡ママ ラブツアー

松阪市内で、1か月に数回のペースで親子イベントや子育て講座などを開催している団体が、「ツナガレ未来研究所」後編に持ち込んだアイデアから生まれたプロジェクトです。定期的にイベントを開催する中で課題となっているのは、託児サービスやボランティアなどのスタッフ不足です。そこで、地域の方が託児を担い、子育て中の家族に夫婦の時間をプレゼントしようという企画です。地域の巻き込み方など、実現には課題がいくつか残りますが、1つ1つの課題を細分化し明確にすることで解決できれば、新しいコミュニティ創出にもつながる、実現が楽しいプロジェクトです。



## コラム「ギフトボックス」

「なんだろう?」「ハサミじゃないですかね?」皆で笑いながら、中身が何か相談しています。

「すぐに使えるウォーミングアップ集」で紹介した、「ギフトボックス」というゲームの1シーンです。少しの準備で簡単に実施することができ、初対面の方向士でもすぐに盛り上がるゲームです。

100円ショップなどで売っているボール紙の箱に、同じく100円ショップなどで買った雑貨を入れておきます。箱の中身を入れた状態で、グループに1つ配って、ふたを開けずに振ったりしながら、中に何が入っているかを当てるゲームです。



これにはしかけがあって、話し合いの最初に「誰でも発言できること」を伝えておくことにねらいがあります。「箱の中身はなんですか?」という簡単なクイズに、学歴、年齢、知識、経験問わず誰でも発言できることに対して、一度発言しておくということは、その後の対話をスムーズに進める役割を果たします。

とにかく、やってみて楽しく、初対面の方々のアイスブレイクとしてもウォーミングアップとしても効果の高い「ギフトボックス」を一度やってみてくださいね。

### 参考文献

- 野村 恭彦 (2012) 『フューチャーセンターをつくらうー対話をイノベーションにつなげる仕組み』プレジデント社。  
野村 恭彦 (2015) 『イノベーション・ファシリテーターー3カ月で社会を変えるための思想と実践』プレジデント社。  
紺野 登 (2012) 『幸せな小国オランダの智慧』PHP研究所。  
稲葉 陽二 (2011) 『ソーシャル・キャピタル入門ー孤立から絆へ』中央公論新社。  
ロバート・D. パットナム (2006) 『孤独なボウリングー米国コミュニティの崩壊と再生』柏書房。  
エドワード・デ ボーノ (2003) 『会議が変わる6つの帽子』翔泳社。  
マイケル・マハルコ (2012) 『アイデア・バイブル』ダイヤモンド社。  
ジェームス W.ヤング (1988) 『アイデアのつくり方』CCCメディアハウス。  
永田 豊志 (2009) 『革新的なアイデアがザクザク生まれる 発想フレームワーク55』ソフトバンククリエイティブ。  
星野 匡 (2005) 『発想法入門』日本経済新聞社。  
加藤 昌治 (2003) 『考具ー考えるための道具、持っていますか?』CCCメディアハウス。  
石井 力重 (2009) 『アイデア・スイッチ 次々と発想を生み出す装置』日本実業新聞社。  
ティナ・シーリーグ出演 (2011) 『NHK DVD スタンフォード白熱教室』ユニバーサルミュージック。  
キースヴァン・デル・ハイデン (1998) 『シナリオ・プランニング「戦略的思考と意思決定」』ダイヤモンド社。  
荒井 香織 (2015) 「世界でもっともイノベティブな会社」IDEOの秘密ートム・ケリーの原則「いかなる個人より全員の方が賢い」『Forbes JAPAN』 2015年 06 月号p22, プレジデント社。  
今泉 浩晃 (1998) 『マンダラMEMO学ーMandal-Art 脳のOSを創る』オーエス出版。

発行 三重県健康福祉部 子ども・家庭局 少子化対策課  
〒514-8570 三重県津市広明町13番地 TEL:059-224-2404 FAX:059-224-2270  
「みえ 子ども スマイルネット」<http://www.shoshika.pref.mie.lg.jp/>

みえの少子化対策を考えるフューチャーセンター事業

事業受託者：特定非営利活動法人Mブリッジ  
〒515-0084 三重県松阪市日野町788 TEL:0598-23-8400 FAX:0598-23-8488  
HP:<http://m-bridge.jp> Mail:[csr@tsutaetai.jp](mailto:csr@tsutaetai.jp)



発行  
三重県

平成28年2月発行